

日本国際経済学会第 81 回全国大会（近畿大学経済学部）

2022 年 10 月 2 日（日）

自由論題報告論文

## 日本の農林水産物輸出額の決定要因

### －輸出関数と重力モデルの推計による実証分析－

The determinants of Japan's agricultural exports:

An empirical investigation through the estimation of export and Gravity equations

作山 巧（明治大学）

E-mail: sakuyama@meiji.ac.jp

#### 報告要旨

本稿では、輸出関数と重力モデルの推計を通じて、日本の農林水産物輸出額の決定要因を検証した。まず、時系列データを用いた輸出関数の推計では、被説明変数が農林水産物輸出額と食料品輸出量の両方で、所得要因（海外の GDP）は統計的に有意ではなかったが、価格要因（実質実効為替レート指数）がマイナスで統計的に有意だった。また、パネルデータを用いた PPML（ポワソン疑似最尤法）による重力モデルの推計では、海外の GDP と訪日外国人数はプラス、輸出先の関税率はマイナスで、全てが統計的に有意だった。このため、最近の輸出増加の要因は、時系列では日本のデフレを含む円安であり、横断面では海外の所得と訪日外国人数の増加と結論づけられた。

#### キーワード

実質実効為替レート指数、訪日外国人、単位根検定、共和分検定、ポワソン疑似最尤法（PPML）